

基本構想アンケートの集計結果について

入れたい部分	入れたい文言	考え方	本文
—	わがまち	「我が」など、市のことを進めるもつが、市民一人ひとりであることを認識できることば。	—
—	まちづくり		—
—	生涯現役	農に携わる者として、生涯現役を謳い年代別役割分担を受け、周りの役に立ちながら、楽しく、生き生き老いる。	—
—	人とのつながり(人持ち)	お金持ちはとても大事、更に大事なものは人とのつながり「人持ち」	—
—	夢のある農業	どうしたら実現できるのでしょうか。 本当に現場は行き詰っていると言っていいですね。 本当の意味での真の農業施策がほしいと感ずますよね。	—
—	人に優しいまちづくり	一関市が市民に対する文章は、老人にとってカタカナが多すぎて、なかなか理解しにくい文章になっている。	—
—	皆で支えあえるまち	今後、ますます高齢者が増加していく。 市の住民を市民皆で支えあえるまちにしよう！ また、障害者にも優しいまちづくりをしよう！！	—
将来像実現のためのまちづくりの目標	幸せを実感するまちづくり		—
構想の推進に向けて	地域(まち)を愛し、地域(まち)に誇りを持つまちづくり・人づくりの促進		—
将来像	住民の視点から発想し、地域をつくる住民自治の充実を図る。		—
将来像	行政と住民との役割分担とコンセンサスを明確にした協働のまちづくりを進める。		—
施策の方向	交流人口を増やす為、各種大会等を誘致する。 また観光客を増やす為、一関に住む人が地域を愛し、誇りを持つ。	一関以外からの交流人口を増やす為各種大会等(スポーツ大会・学会等)を誘致する。 また観光客を増やす為一関に住む人が、地域を愛し、誇りを持たなければ、観光客は満足しない。 (「観光」とは、その場所の光(輝いているところ)を観ると思います。)	—
まちづくりの目標	みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり の考え方に 「学校」を加える	市民、地域、行政が一体となった、安心・安全のまちづくりを目指します…という所に“学校”も加えた方がいいのではないか。	—

入れたい部分	入れたい文言	考え方	本文
—	みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり →表現に違和感がある。	「今の生活や将来に不安を感じることなく、安心して生活を営めるまちづくりを目指す」という言い方が、少し違和感があるので(個人的なことのように)こういう文ではなく表現できたらと思いました。	—
—	義理人情に厚い人づくり		
—	結の精神	<p>人と人のつながりを深くし共に助け合う</p> <p>親がしっかり自分の子どもと向き合って子育てをし、その子育てをサポートをする家族、近所、地域、企業があるまちであってほしい。</p>	<p>現総合計画基本構想の掲載されている冊子のP203の「まちづくりの基本は人づくり」という点はとても大事だと思います。 ただ施策の方向のところに子どもたちの生きる力と確かな学力を培う学校教育の充実とありますが、それは、人づくりの基本は家庭であるという考えを基にしているのでしょうか。 政府は女性の社会進出をすすめています。子育てのために家にいる母たちに、配偶者控除等を無くし、どんどん子育てせず働きなさいという施策をとろうとしています。 まちづくりの基本は人づくりです。そう言うっておきながら、自分の子どもを育てられない環境をつかって、どういう人づくりをしたいのでしょうか。</p> <p>日本人が好むとされる「忠臣蔵」の浅野内匠頭長矩が刃傷沙汰におよんだとき、陸奥一関藩主、田村右京大夫建頭の上屋敷預りになり、そこで切腹となったことをご存知のことと思います。その赤穂浪士の仇討ちには、義理人情のエピソードが沢山あります。 その義理人情のエピソードの中にここ「一関」が出てくる事は、とても誇らしく思います。義理人情に厚い人づくりが、人と人のつながりを深くし共に助け合う、結の精神をもたらすのではないかと思います。現代は、個を大事にするあまり、孤独死を招いたり、核家族化がすすみ、共働きで子どもは保育所に預け自分で育てない環境にあります。 身近な親子の関係さえ、希薄になっているのが現状ではないでしょうか。食べる事に関して、給食は以前は食べるまで残されていましたが、今では個を尊重するあまり、食べれるものだけ食べれば良い、無理して食べなくても良いとなっている様で、好き嫌いを許しているだけの様にも思われます。レトルト食品や好きなものだけ食べ、愛情も希薄に育った子ども達が担う未来はどの様なものでしょう。 せめて、ここ一関は、母がしっかり自分の子どもと向き合って育てられ、それをサポートする家族、近所の人やいて、地域があつて、企業があつて、そういうまちであつて欲しいです。 そこで育った子ども達は、義理人情に厚い、心優しい、真の生きる力のある賢い子になって、将来の一関をしっかり守ってくれるのではないのでしょうか。</p> <p>秘密のケンミンshowというテレビ番組で、岩手県の人を道路を渡るとき、停ってくれた車に、渡り終わってからきちんとおじぎをしているとても礼儀正しいと紹介されました。実際に、花泉でも良く見られます。こうした日常の行動も誇れるひとつです。こうした事もしっかり教え受け継いで欲しいです。一関の誰もが出来るといいなと思います。それを可能にするのが教育だと思います。 一関の伝統に誇りを持って、一関の人らしさを大事に育てたまちづくりを望みます。</p>
—	一関の伝統に誇りを持って、一関の人らしさを大事に育てたまちづくり		
将来像		現行のままで良いのではないか。市民にだいが定着していることから。	—
その他		基本的には現行の基本的考え方など基盤に考えるべき。	—